

<医師も推奨！「読む・書く・ポストに届ける」動作と認知症の関係！>

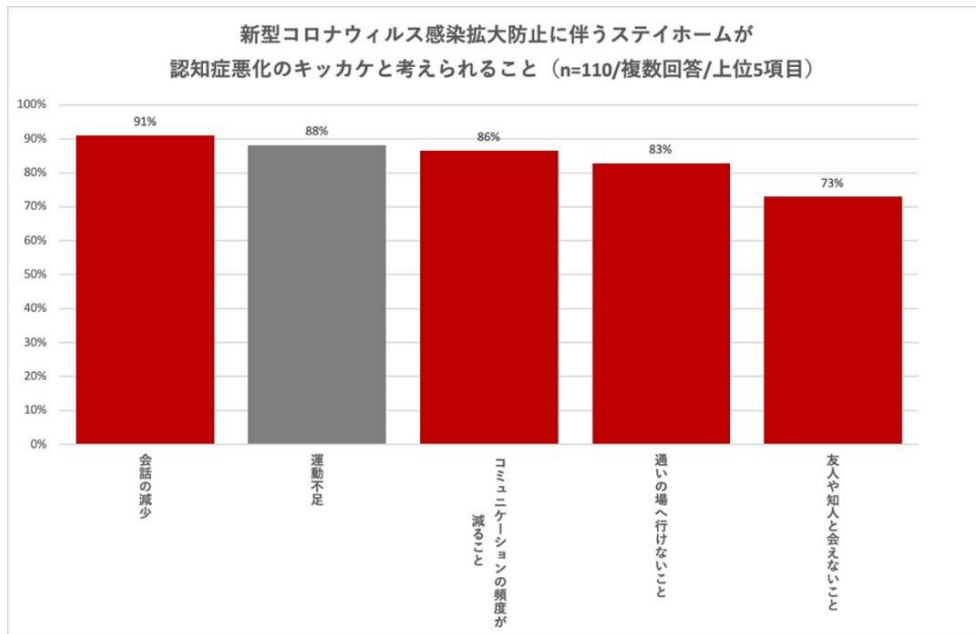
■認知症に関わる診察を行う医師 120 人に聞いた、

「認知症と日本郵便株式会社の新サービスについてのリサーチ」※調査概要は 3 ページに記載

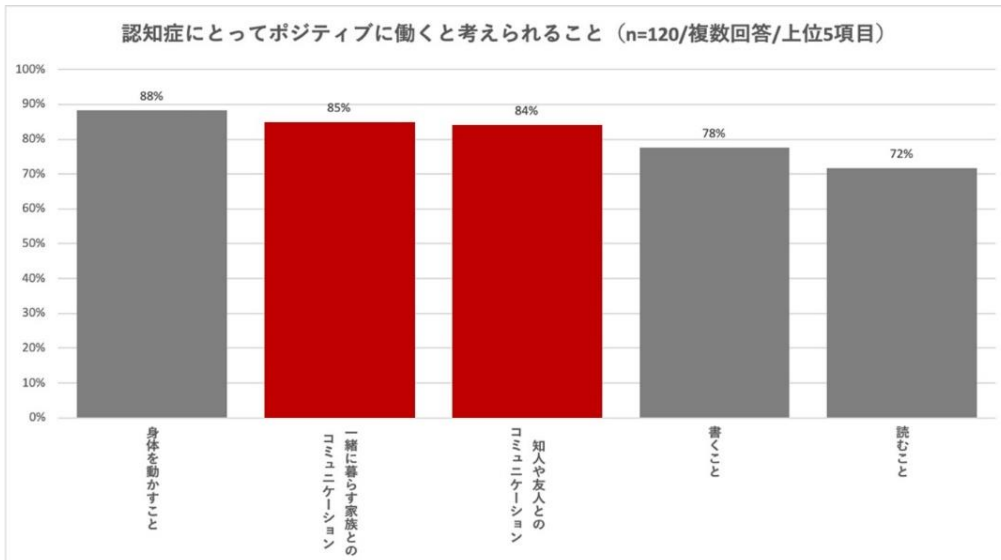
1: 家族・知人とのコミュニケーションが認知症にポジティブに働くと考えられると 8 割以上が回答

「新型コロナウイルス感染拡大防止に伴うステイホームが認知症悪化のキッカケになると考えますか？」という質問に対し、92%の医師が「はい」と回答しました。「はい」と答えた医師に「認知症悪化のキッカケと考えられることは？」と聞くと、「会話の減少」(91%)が最も多く回答され、「運動不足」(88%)、「コミュニケーションの頻度が減ること」(86%)が続き、上位 5 項目は下の図のとおりでした。

認知症患者にとって、ステイホームによる会話やコミュニケーションの減少が懸念されていることがうかがえました。

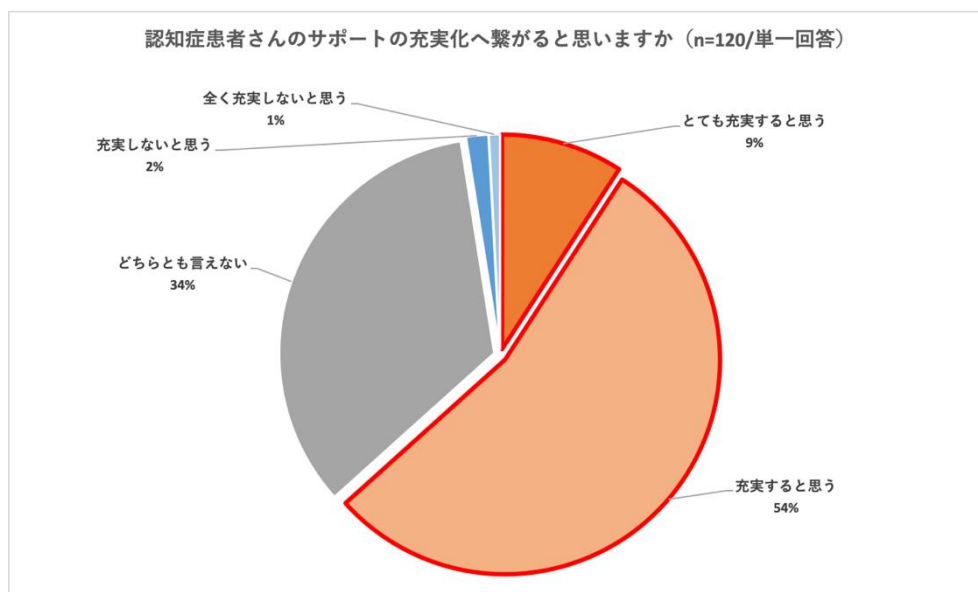


また、「認知症患者さんにおける行動の中で、認知症にとってポジティブに働くと考えられることは？」という質問に対する回答のうち、「身体を動かすこと」(88%)が最も多く、続いて「一緒に暮らす家族とのコミュニケーション」(85%)、「知人や友人とのコミュニケーション」(84%)となり、上位 5 項目は下の図のとおりでした。

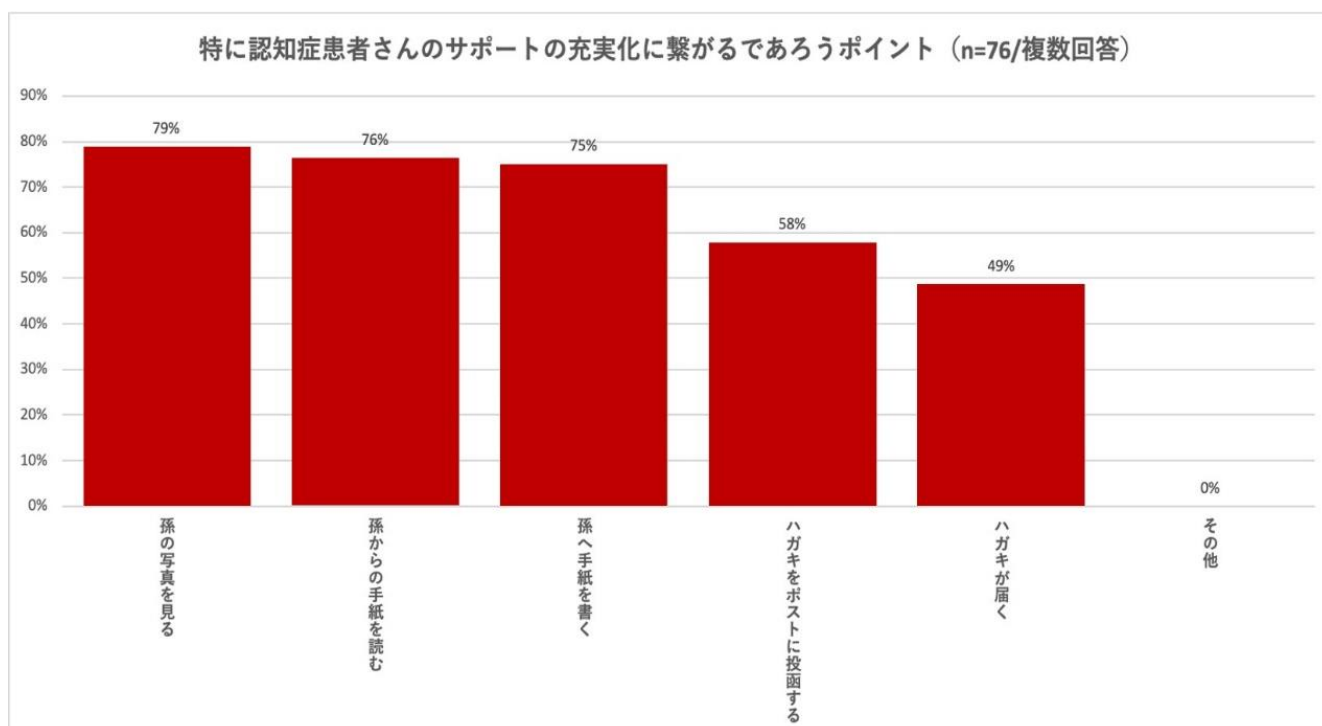


2: 『マゴ写レター』で行う「見る・書く・歩く」の動作は認知症患者さんのサポートの充実化へつな がると6割以上が回答

「見る、書く、歩くという行動を自然に取ることができる要素が含まれている『マゴ写レター』は認知症患者さんのサポートの充実化へ繋がると感じますか？」という質問に対し、「とても充実すると思う」「充実すると思う」と6割以上の医師が回答しました。

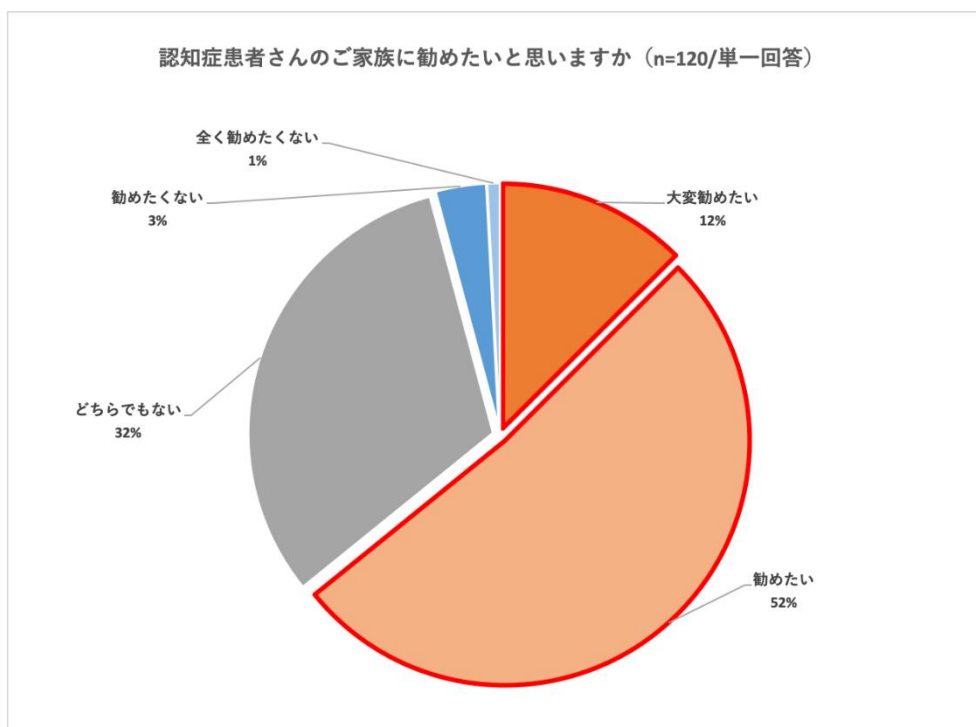


「とても充実すると思う」「充実すると思う」と答えた医師に「特に認知症患者さんのサポートの充実化に繋がるであろうポイント」について聞くと、「孫の写真を見る」(79%)が最も多く、続いて「孫からの手紙を読む」(76%)、「孫へ手紙を書く」(75%)と回答されました。



3：医師の6割以上が認知症患者さんのご家族に『マゴ写レター』を勧めたいと回答

「日本郵便の『マゴ写レター』を認知症患者さんのご家族に勧めたいと思いますか？」という質問に対し、「大変勧めたい」「勧めたい」と6割以上の医師が回答しました（単一回答）。



■調査概要

調査方法：インターネットリサーチ

調査期間：2020年8月31日（月）～2020年9月2日（水）

有効回答：120人（回答者は全て、医師専用コミュニティサイト MedPeer に会員登録をしている医師）

※認知症患者を診察することの多い診療科目（老年内科、在宅医療、脳神経外科および神経内科）の医師を対象にしています。

■引用・転載時のお願い

本調査結果の引用・転載時には、

必ず下のとおりクレジットを明記いただけますようお願いいたします。

- ・「医師専用コミュニティサイト「MedPeer」調べ」
- ・Webサイト上での引用の際は、「MedPeer」に <https://medpeer.jp> へのリンク付与

■画像素材ダウンロードURL：<https://bit.ly/2GvdQJK> (Pass : mago)

※画像の加工・トリミングは禁止致します。

また、報道目的以外の商用利用は固くお断りいたします。